



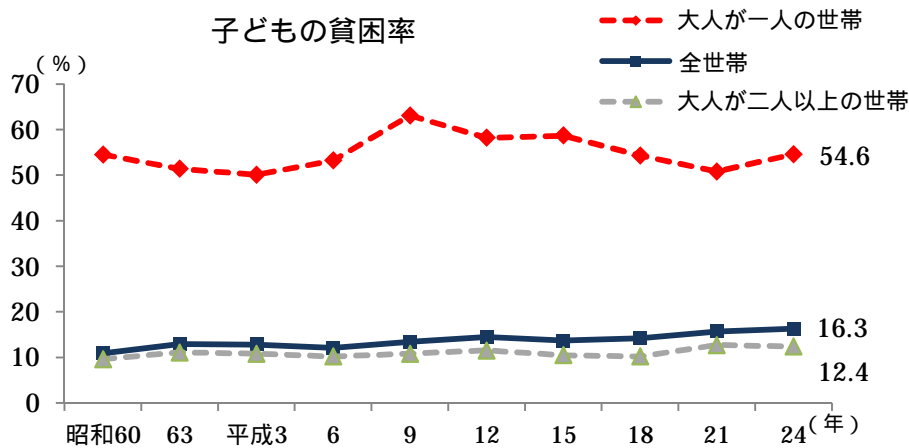
知っていますか？子どもの貧困

子どもに希望を



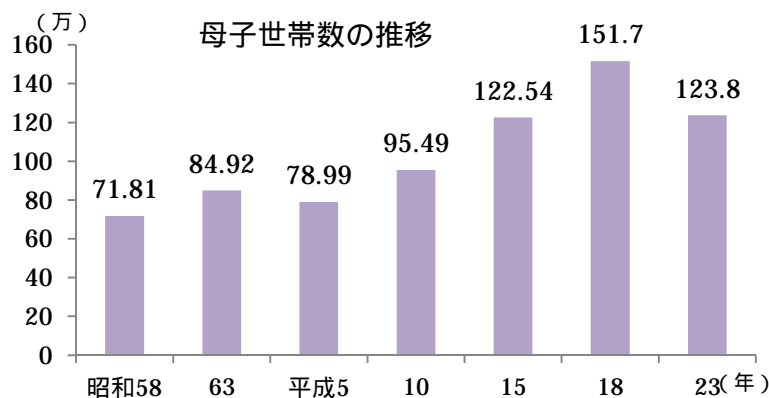
厚生労働省の「平成 25 年国民生活基礎調査」(平成 26 年 7 月発表)によると、「子どもの貧困率」が過去最高の 16.3%となりました。子どもの約 6 人に 1 人が貧困に直面していることになり、大きな社会問題となりつつあります。

「子どもの貧困率」とは、平均的所得の半分を下回る世帯で暮らす 17 歳以下の子どもの割合を示します(平成 24 年は 122 万円に満たない世帯)。



大人が一人の世帯の貧困率が 54.6%と、大人が二人以上いる世帯に比べて非常に高くなっています。

ひとり親世帯のうち父子世帯の平均年間収入は 455 万円、母子世帯は 291 万円。母子世帯の 80.6%が就業しているものの非正規雇用の割合が 52.1%と高く厳しい状況です(平成 23 年度全国母子世帯等調査)。



教育の機会均等を!

子どもの将来が生まれ育った環境に左右されることなく、また、貧困が連鎖することのないように、「子供の貧困対策に関する大綱」が平成 26 年 8 月閣議決定されました。

ひとり親家庭にはどんな支援があるの? 練馬区

手当について：児童育成手当・児童扶養手当の支給

ひとり親家庭ホームヘルプサービス

ひとり親家庭高等技能訓練促進費等事業

対象・要件等詳細は「ひとり親家庭のしおり」(福祉部発行)をご覧ください(男女共同参画センター図書・資料室にも置いてあります)。

ひとり親になって困った時は、総合福祉事務所(練馬・光が丘・石神井・大泉)にご相談ください。

医療費の助成：ひとり親家庭等医療費の助成

ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金

東京都母子福祉資金 等々

図書紹介 シングルマザー

母子家庭の暮らしの困難は、これまで社会に当然のこのように受け止められてきました。現在の日本でひとり親であるということは、半分以上の確率で貧困に陥ることがわかってきました。日々の暮らしは何とかなっても、子どもに十分な教育費を捻出することは難しいでしょう。家庭環境による社会的不利を、子どもに背負わせ続ける社会は変えていく必要があります。

今、求められている支援とは何でしょうか。



ひとり親家庭

赤石千衣子著
岩波書店 2014

ひとり親はどのような状況に直面しているのか。またなぜそうなっているのか。自らもシングルマザーとして当事者に寄り添ってきた著者が、現状の課題を整理し、一人で子どもを育てる人々の生活を豊かにする道筋を提起している。



ひとり親家庭を支援するために

神原文子著
大阪大学出版会 2012

ひとり親家庭を支援している人々のために書かれた本。シングルマザー当事者や、ひとり親家庭で育った子どもたちの声も掲載。支援の第一歩は当事者の声を真摯に受け止めることである。



子づれシングルと子どもたち

神原文子著
明石書店 2014

ひとり親家族の子どもたちへのアンケートとインタビューによる生活実態調査。自分の人生を切り拓く力を培ううえで、保護者の前向きな生き方、援助者、友達、周囲のまなざしが重要な意味を持っている。

新着図書

分類	書名	著者名	発行所
146	マインドフルネス入門	大田健次郎	清流出版
289	凜として	仲俊二郎	栄光出版社
304	子どもに貧困を押しつける国・日本	山野良一	光文社
323	私は13歳、学校に行けずに花嫁になる。	ブラン・ジャパン	合同出版
361	友だち幻想	菅野仁	筑摩書房
366	「産む」と「働く」の教科書	齋藤英和、白河桃子	講談社
366	「育休世代」のジレンマ	中野円佳	光文社
367	市川房枝と「大東亜戦争」	進藤久美子	法政大学出版局
367	パンパンとは誰なのか	茶園敏美	インパクト出版会
367	何を怖れる	松井久子/編	岩波書店
367	専業主婦になるということ	野崎佐和	あけび書房
367	平成家族考	家庭問題情報センター	司法協会
368	最貧困女子	鈴木大介	幻冬舎
369	介護家族を支える電話相談ハンドブック	角田とよ子	中央法規出版
376	日本初!世界を変える全寮制インターナショナルスクール	中西未紀	日経BP社
493	「長生き時代」を生きる	小澤利男(ほか)	集英社
493	子は親を救うために「心の病」になる	高橋和巳	筑摩書房
599	今日	伊藤比呂美/訳	福音館書店
914	遺言	志村ふくみ、石牟礼道子	筑摩書房



子どもの貧困

阿部彩著
岩波書店 2014

いったい、どれほどの日本の子どもが貧困状況にあるのか。そして、どのような影響を子どもに及ぼしているのでしょうか。貧困は、その子どもや家族にとっての困難であるだけでなく、社会全体の利益からみても損失である点を示している。



できる! シングルマザー生活便利帳

新川てるえ、田中涼子著
山海堂 2006

仕事の選び方、サンプル家計簿、母子生活支援施設、仕事と育児両立のツボ、福祉制度、お悩み解決、支援団体、養育費算定表などわかりやすく解説しているシングルマザーサポートBOOK。



シングルマザーのあなたに

しんぐるまざあず・ふぉーらむ著
現代書館 2008

「大丈夫、やっていけるよ。あなたはひとりじゃない。」シングルマザーの先輩たちが贈る生きる知恵と経験。離婚調停、養育費、様々な制度等について情報満載。



子どもに貧困を押しつける国・日本

山野良一著
光文社 2014

現在の日本の豊かな社会では、子どもの貧困は「見ようとしなければ見えない」ものになっていくのかもしれないと著者はいう。子どもが自分の努力で貧困から抜け出すことはむずかしい。



時代を拓いた女たち

しもだ うたご
下田 歌子

安政元年(1854年)～昭和11年(1936年)

安政元年、岐阜県恵那郡の藩士平尾録蔵、房の長女として生まれる。幼名を銘。祖父は漢学者東条琴台。幼い頃より書物に接し、和歌や俳句さらに漢詩も作る早熟な才の持ち主であった。「元旦はどちらを向いてもお目出たい赤いべべ着て昼も乳呑む」と5歳でわが身を詠んだ。親孝行の集録本を読み、雪の中親の好物の筍を掘ろうとしたり、武勇伝を読み無謀な鍛錬をしたりと無邪気な失敗を繰り返しながら、書物からの知識とともに実行力を身につけていった。

明治5年18歳で、歌道の師八田知紀の推挙によって宮内省出仕。最下級の女官であったが、歌才に秀で学識の高い銘は皇后の御歌の相手役に抜擢され、「歌子」の名を賜った。さらに御書物掛として深く学事に関わっていくようになった。

明治12年25歳の時、父の勧めにより宮中を辞し剣士下田猛雄と結婚するが、5年で死別。夫の看病中、歌子の才能を惜しむ伊藤博文らの政府高官の要請により、上流階級子女教育のための『桃夭女塾』を自宅に開設。当時留学から帰国した津田梅子が、英語教師

『女性の清らかな徳性と豊かな情操をもって
社会の弊を正せ』

として加わった。その後宮内省に戻り、華族女学校(後に学習院と併合)設立に参画し教授となる。多忙な中「和文教科書」や「小学読本」などの教科書の編纂も行っている。

明治26年39歳、内親王の教育掛を託され、イギリス王室や欧米各国の女子教育視察のため渡欧。英語を学んだ後ロンドン郊外の女学校に入学し、女子教育の実態を観察。また日本人女性として初めてヴィクトリア女王拝謁を成し遂げ、皇孫女が一般の生徒と区別することなく学んでいるのに驚いたという。知育のほか体育の重要性、市民社会の中で果たす女性の役割の大きさなど留学中の見聞を「泰西婦女風俗」に記している。帰国後大衆女子教育の必要性を認識した歌子は、「帝国婦人会」を結成し機関誌「日本婦人」を刊行。

明治32年45歳、満を持し私財をもって「実践女学校」を創立。女性の社会進出に異を唱える人々の誹謗中傷に屈することなく、終生女子教育に心血を注いだ人生であった。昭和11年82歳で没。

参考資料:『凜として』栄光出版社、「人物日本の女性史12」集英社ほか

にゅーすBOX

増えない 女性管理職

政府は地方公務員の女性管理職(課長級以上)の割合について、平成26年4月現在、都道府県が7.2%(前年比0.4ポイント増)、市町村が13.1%(同0.9ポイント増)と発表した。国家公務員の女性管理職は3.3%にとどまっており、国が地方に後れを取っている状況が明らかになった。女性管理職の割合が10%を超えたのは東京(14.9%)と鳥取(12.0%)、最も低かったのは山口(2.4%)。女性管理職登用の数値目標を掲げているのは長野や奈良などの21府県。

女性研究者最多

総務省の発表によると、平成26年3月末の日本の官民の女性研究者は、前年比2800人増の13万600人と、33年連続でこれまでの最多を更新した。

東京都 男性不妊治療 助成へ

都は、男性の不妊治療費について来年度から助成する方針を固めた。上限15万円で、支給対象の男性に年齢制限は設けない。夫婦の不妊治療費に対しては国と都で最大計25万円を支給しているが、男性に特化した不妊治療にも助成の不足を補う形で都が15万円を上乗せ支給する。都によると男性が原因とみられる不妊のケースがほぼ半数に上るといふ。

企業の女性活用 取組みに遅れ

東京商工リサーチが全国の3千社に実施したアンケートによると、管理職に占める女性の割合が10%未満だった企業は、全体の76.4%。資本金が1億円以上の企業では82.7%に達した。政府が目標とする30%を超えた企業は6.9%にとどまり、企業の女性活用の取組みの遅れが浮き彫りとなった。

ストーカー被害者を守る 自治体の取組み

ストーカー犯罪から被害者を守るため、一時避難先として家電付きの公営住宅を提供したり、ホテル代などの宿泊費を補助したりする取組みが都道府県に広がっている。身一つで逃げることも多い被害者に安全に身を隠せる場所をどう提供するか、模索が続いている。

未成年中高生飲酒割合 女子が高い

厚生労働省の調査によると、中高生の飲酒習慣(月1日以上)の割合は、15年ほど前から大幅に減ってはきているが、男子より女子の方が高くなり「逆転」した。平成22年度は、高校生男子14.4%、女子15.3%。

国 審議会の女性割合最高

国が有識者から意見を聞く審議会で、平成26年は、女性委員の占める割合が35.3%(前年比1.2ポイント増)に上り、過去最高となった。政府は平成32年までに40%以上とする目標を掲げている。

認知症平成37年700万人 介護職員は30万人不足

政府は、認知症対策に関する初の国家戦略(新オレンジプラン)を決定した。若年性認知症の支援強化、家族ら介護者の支援など7つの柱を掲げている。認知症の人は、団塊の世代が75歳以上になる平成37年には、65歳以上の5人に1人に当たる700万人前後に増えるという。

また、厚生労働省の調べで高齢化がピークを迎える平成37年度時点で、介護職員は30万人程度不足の見通しであることが分かった。平成25年度は非常勤も含め約177万人。介護職員は約250万人必要だが、確保できるのは220万人の見通し。

女性の就業支援一覧サイト開設

内閣府は、今年3月に、就職や起業を目指す女性を後押しするため、各省庁がすすめる施策を一覧してみられるサイトを設ける。平成27年度は、ひとり親家庭の就職や転職支援、起業の知識を習得できるスクール事業など22の施策が予定されている。育児や介護などで就業していないが、できれば就業したいと希望している女性は平成25年時点で315万人に上るといふ。

父母らから虐待 約6割

厚生労働省が公表した施設入所児童らの調査(平成25年)で、親と離れて児童養護施設で暮らす子どもの59.5%が、父母らから虐待を受けた経験があることが分かった。虐待経験のある子の割合は前回調査(平成20年)より6ポイント増。

女性管理職比率 アジアで最高 フィリピン

国際労働機関(ILO)の報告書によると、女性管理職比率でフィリピンが47.6%(4位)とアジアで最も高いことが分かった。モンゴルが41.9%(17位)、中国は16.8%(85位)、日本はわずか11.1%(96位)だった。

